

# プロジェクトXXVII 第37回 公開土曜講座

人は自然の一部。  
そして、文化をつくる存在。

本講演では、環境問題やテクノロジーをめぐる現代の課題を  
「自然 × 文化」の視点で読み解きます。

持続可能な社会を築くために、  
自然から学び、文化を育てる——  
そのヒントを一緒に探してみませんか？



田中 克氏

「いのちのふるさと、  
海を想い、森に暮らす」

地球上の全てのいのちは、そのルーツを探れば、海に至る。ヒトのルーツは、海に生まれた最初の脊椎動物である魚が上陸したことに辿り着く。個体の誕生も母体の海（羊水）である。いのちのふるさと海は今では息絶え絶え。いのちの源水は悠久の時を通じて海と陸の間を巡り続け、生命系を支えてきた。その巡りを潰し続ける人の営み。森に暮らして、水の巡りを体で感じ、海への想いを深め、未来世代のために何ができるかを模索する。

#### プロフィール

京都大学名誉教授。滋賀県大津市生まれ。琵琶湖での釣り体験を原点に、稚魚の生態研究から森里海の不可分のつながりに目覚め、森に暮らし、水辺の再生を通じて未来世代のために何ができるかを模索中。



湯本 貴和氏

「自然界における  
「共生」とは何か？」

生物の間には、相利共生、片利共生、敵対、競争などのさまざまな関係が成立している。生物は基本的には自らの子孫を増やすような利己行動をとるが、利他とも捉えられる行動はどのように進化してきたのか。また、相互扶助に見える「共生」の実態は何なのかを聞きたい。さまざまな自然界での「共生」を概観しながら「共生」とは何か、それが人間を含めた世界にどのような理解をもたらすのかを論じる。

#### プロフィール

（公財）日本モンキーセンター所長・きょうと生物多様性センター長・京都大学名誉教授。  
京都大学大学院理学研究科植物学専攻修了（理学博士）。植物と動物の「共生」関係を研究してきた。

## 自然に学び、 自然と生きる

2025年  
11月22日（土）

13:00～16:00

神戸国際大学 2号館4階 ミカエルホール

研究発表会 14:55～15:55

白砂 伸夫氏（神戸国際大学 経済学部名誉教授）  
「自然と調和したまちづくり——  
京都西京桂坂の実践」



浅野 貴彦氏（神戸国際大学 経済学部教授）  
「AI時代における用いの変容——  
哀しみは自然に癒されるのか」



お申し込み方法

ホームページから  
お申し込みください。▶ URL <https://www.kobe-kiu.ac.jp>

TOPページ上部の[卒業生・一般の方]をクリックし、[生涯教育／講演会]から入ってお申し込みください。  
QRコードからは、直接、お申し込み画面に入れます。また、E-mail、ハガキ、FAXでの申し込みも可能です。  
郵便番号、住所、氏名、電話番号、申込人数を明記してください。



お問合わせ先



神戸国際大学

経済文化研究所

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9丁目1番6

TEL: 078-845-3455 FAX: 078-845-3691 E-mail: keizai-bunka@kobe-kiu.ac.jp

#### ACCESS

六甲アイランドへは、JR神戸線「住吉駅」・阪神本線「魚崎駅」で六甲ライナーに乗り換え。大阪、梅田から約30分。三ノ宮、神戸三宮から約20分。  
六甲ライナー「マリンパーク駅」下車南へ徒歩すぐ。

